

令和2年3月31日発行 登録団数 73団 指導者343名 団員数1220名 (男子926女子294)



副本部長
堀口 裕文

2020年東京オリンピック・パラリンピックが史上初の延期という記事を見ました。新型コロナウイルスの世界的な感染拡大をうけ、7月24日に開幕予定だった東京五輪を1年程度延期する記事でした。

3月より学校が臨時休校になり、今までに経験したことのない新型コロナウイルス感染拡大防止のための取り組みが進んでいます。スポーツ界においても無観客試合が行われたり、各種の選抜大会が中止されたりしました。オリンピック・パラリンピックにおいても選手選考が終わっている種目もあれば、これからという種目もあります。このままオリンピックが開催されるならば、辞退する人も出てきています。この延期を受けて、選手されている選手の中には、「選手のことを考えての判断だ」と言われています。

スポーツの場面でよく「フェアプレイ」という言葉を耳にします。「フェアプレイ」というのは、試合のルールを守ることをさしています。試合にはルールがあり、ルールを守ることで公平で対等にみんなが楽しく試合することができます。フェアプレイには、ほかに大切な意味があります。

「フェアプレイ」



一つは、全力を尽くすという事です。自分の持っている力を最後まで出すように努力することがフェアプレイです。今できる事を精一杯、発揮することです。

もう一つ、「フェアプレイ」は相手や審判を尊敬することをさします。勝ちたいばかりに自分さえよければと考えてしまうこともあります。相手がいるからこそ、楽しむことができるし、相手も同じスポーツを楽しむ大切な仲間です。フェアプレイは、自分も相手も尊敬し、大切に思うことです。スポーツの場面に限らず、日常生活の中でも、自分の考えや行動について、良いことか悪いことかを自分の意志で決められること、自分自身に問いかけた時に恥ずかしくない判断ができる心が「フェアプレイの精神」です。

この東京五輪が延期されたのもフェアプレイの精神だと思えました。2021年度になつた東京オリンピック・パラリンピックが大成になることを望むばかりです。

野外活動教室

指導部会長 堀口義彦

昨年は猛暑のため中止になり今年も開催出来るか心配していましたが、今年は八月二十二日(木)から二十三日(金)の二日間の日程で、令和元年度奈良市スポーツ少年団野外活動教室が、奈良市青少年野外活動センターとB&G財団 山添海洋センターで実施しました。参加者は男子団員二十三名、種目は野球、ミニバスケ、剣道、ホッケーの登録団員でした。一日目は午前八時奈良市役所に集まり出発式をした後、班ごとに自己紹介をして班長を決めて、バスに乗って奈良市野外活動センターに到着しました。入所式を済ませて、班ごとにオリエンテーリングに出かけました。各班問題の解答を考えながら楽しいひと時でした。昼食後は、水着に着替えて、白砂川まで歩いて行きました。

今年は例年に比べて人数も少なく、川の中に入って、魚をザルで捕まえたり、水のかけ合いをして楽しい時間、あつという間に過ぎてしまいました。センターに戻って、夕食のカレー作りです。薪を取りに行く係や鍋や飯合、材料を取りに行く係、かまどで火を起す係と、それぞれ役割分担をして、おいしいカレーが出来ました。班ごとに盛り付けました。後片付けを全員で行い、一晩から順番にお風呂にはいりました。夜は楽しいキャンプファイアーです。今年も奈良教育大学の指導者を招いてのキャンプファイアーで歌とゲーム、各班の出し物があり、楽しく盛り上がりました。

二日目は午前六時三〇分に起床して、洗面を終えて、朝のついで、ラジオ体操その後、清掃活動各班決められた場所の掃除を行い朝食の準備にかかりました。朝食はホットドックとバナナ、飲み物。朝からしっかり全員の食事を済ませました。後片づけも全員で行いました。

午前のプログラムは、ドリームキャッチャーの作り方を教えて頂き、それぞれ苦労しながら、作りました。センターの退所式を済ませ、バスに乗り海洋センターに到着しました。昼食のお弁当を頂き、カヌーのパドルの扱い方の説明を受け、救命胴衣を着けて、カヌーを全員で、運びました。今年、人数が少なかったため、全員カヌーと足こぎボート、ボートに挑戦しました。交代をしながら、初めて乗る子供も上手に楽しく体験することが出来ました。全員でカヌーとボートを運び、水洗いとスポンジで汚れを落とし、カヌーの体験は終わりました。後は、感想文を全員書く時間が有り、楽しかった二日間の思い出を振り返りながら書いていました。バスに乗って奈良市役所まで帰る一時間ほどの時間でしたがほとんど

飲食物。朝からしっかり全員の食事を済ませました。後片づけも全員で行いました。

どの団員は疲れたのか爆睡していました。バスが到着してもまだ寝ている団員もいました。解散式を済ませて、保護者の方が、お迎えに来て頂き名残を惜しみながら別れました。

今年、人数が少なかったため、充実した野外活動教室でした。今年参加出来なかった団員の皆さん来年ぜひ参加してください。



体力づくり大会

総務部会副部会長 堀内 大輔

か不安でしたが、願いが通じたのか、雨が止んで、無事に開催することができました。

令和二年一月二十一日に第五十四回奈良市スポーツ少年団体力づくり大会がならでんフィールドで行われました。この大会は、日頃団活動で鍛えた体力を発揮して、全員が完走することを目指し、冬季における体力づくりと、健康の保持・増進に役立てることを目的に実施されています。この日は前日からの雨の為に、開催が出来る

今年度は十の団から百七十名の参加申し込みがありました。男女各三年生以下・四年生・五年生・六年生・中学生の種別に分かれ、一・五kmのコースを力いっぱい走り切りました。団員達は、観客席からたくさん声援を受け、普段とは違う場所、いつもと違った汗を流したことで、目標を達成できて嬉しかった。「来年も参加し

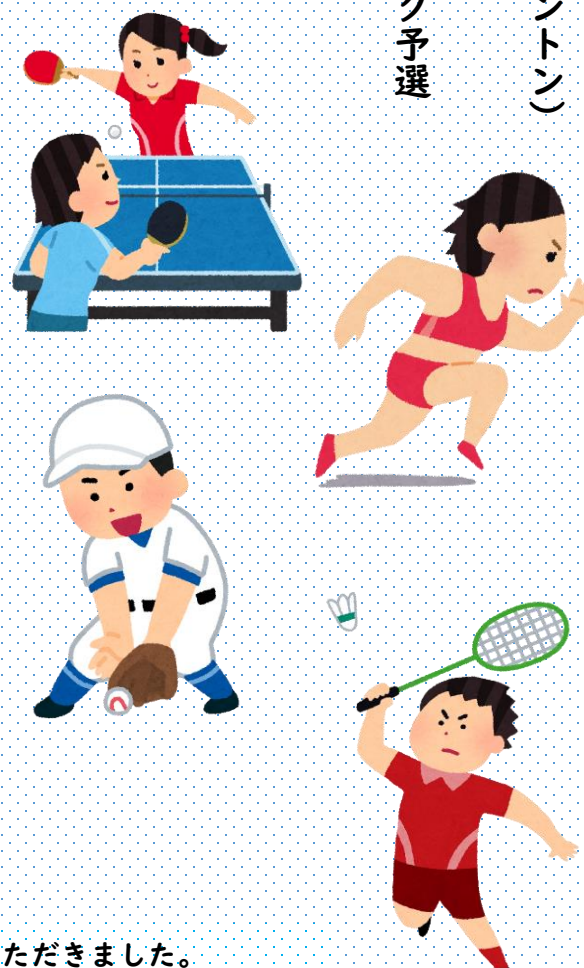


めに走っていました。年々参加人数が減り、寂しく思っています。来年度はもっとたくさんの方に会えることを楽しみにしています。

令和2年1月26日(日)

申込数	10団	170名	距離	1500m
当日参加者	136名			
入賞者一覧				
	氏名	団名	タイム	
3年以下男 35名	1 東條 朔弥	三碓陸上	5分55秒	
	2 水巻 直也	三碓陸上	6分01秒	
	3 河島 空良	三碓陸上	6分05秒	
3年以下女 17名	1 永田 実紗希	三碓陸上	6分03秒	
	2 福山 ひら	三碓陸上	6分09秒	
	3 大門 文音	三碓陸上	6分16秒	
4年男子 23名	1 サウター玲音	三碓陸上	5分13秒	
	2 宇治本 啓	三碓陸上	5分43秒	
	2 前岡 柊三	三碓陸上	5分53秒	
5年男子 29名	1 東條 颯介	三碓陸上	5分02秒	
	2 高井 篤生	三碓陸上	5分07秒	
	3 徳永 悠太	三碓陸上	5分07秒	
6年男子 8名	1 天雲 悠斗	三碓陸上	5分09秒	
	2 山本 天翔	椿井アキズ	5分27秒	
	3 中川 叡	三碓陸上	5分30秒	
4年女子 4年～中学24名	1 村上 日南	登美ヶ丘バドミントン	6分17秒	
	2 川西 彩花	佐保ミニバス	6分24秒	
	3 林 美濤	三碓陸上	6分40秒	
5年女子	1 江島 遥香	三碓陸上	5分19秒	
	2 留島 妃夏	登美ヶ丘バドミントン	6分18秒	
	3 有山 彩那	三碓陸上	6分36秒	
6年女子	1 櫻井 育美	三碓陸上	5分26秒	
	2 前岡 さくら	三碓陸上	5分27秒	
	3 山藤 りさ	三碓陸上	5分45秒	
中学生女子	1 岸本 帆乃佳	The Golden Eggs	6分07秒	
	2 岸本 桃佳	The Golden Eggs	9分28秒	

- 令和元年度 全国・近畿大会派遣一覧
- 1 第37回全国ホープス卓球大会
開催地 山梨県甲府市
出場 高の原クラブ(男・女)
 - 2 2019年全日本卓球選手権大会(ホープスの部)
開催地 兵庫県神戸市
出場 和田奈都姫(高の原クラブ)
 - 3 第20回ダイハツ全国小学生ABCバドミントン大会
開催地 熊本県八代市
出場 柳生紗羽海(鴻ノ池中央バドミントン)
 - 4 第28回全国小学生バドミントン選手権大会
開催地 兵庫県加古川市
出場 鴻ノ池中央バドミントン 7名
登美ヶ丘バドミントン 1名
 - 5 第43回近畿少年軟式野球大会
開催地 大阪府堺市
出場 平城スポーツ少年団



- 6 第13回近畿秋季学童軟式野球大会
開催地 京都府亀岡市
出場 平城スポーツ少年団
- 7 第22回全国小学生クロスカントリーリレー研修大会
開催地 大阪府吹田市
出場 三碓陸上クラブ
- 8 第28回全国小学生バドミントン選手権大会
開催地 徳島県鳴門市
出場 永田翼斗(登美ヶ丘バドミントン)

※本年度のスキー教室は、暖冬による雪不足の為、中止させていただきました。
また、新型コロナウイルスの影響により、令和2年3月開催予定であった「第42回全国スポーツ少年団剣道交流大会」「第17回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会」が中止になりました。

【新規団紹介】

奈良ホッケースポーツ少年団

代表 奥田 真史

ホッケーと聞いて、どのようなスポーツを想像されますか？
私たちが取り組むスポーツは、芝や土のフィールド上で行うホッケーです。
ホッケーは、ボールスピードが速く、展開が目まぐるしく変わります。そのスピードの速さが、最大の魅力です。

日本では馴染みのないスポーツかもしれませんが、しかし、ヨーロッパ諸国では比較的にポピュラーなスポーツとして認知されています。
また、オセアニアではオーストラリアやニュージーランド、南米ではアルゼンチン、南アジアではインドなどが強国となっています。

さらに、2018年にジャカルタで行われたアジア大会では、男女アベック優勝を果たし、オリンピックでのメダル獲得が期待されています。
さて、奈良ホッケースポーツ少年団は、2015年に創設したジュニアホッケークラブを前身とし、2019年に団登録をした新しい団体です。ホッケーの団は令和元年度の時点で全国に62団あるのですが、奈良県では当団が県史上初めて登録しました。

現在は、園児、小学生、中学生の男女約35名で、各種大会を目指して、明るく元気に活動しています。
指導理念は「ホッケーを通じた人間づくり」で、運動する習慣を身につけるとともに、思いやり・協調性を大切に、心身ともに健全な成長を促せるよう指導者一同努めています。

また、夏や冬には、保護者の皆さんが中心となって、団員・保護者・指導者が一緒に楽しめる親睦会・レクリエーションを開いています。
一度ハマると抜け出せない魅力があるホッケー。ぜひ、体験・見学にきてください！

また、夏や冬には、保護者の皆さんが中心となって、団員・保護者・指導者が一緒に楽しめる親睦会・レクリエーションを開いています。

一度ハマると抜け出せない魅力があるホッケー。ぜひ、体験・見学にきてください！

【体験等の問い合わせ】 ☎0742-34-5376
奈良市スポーツ少年団本部事務局

